



CHAPTER 2

Prime Central for HCS ポータルの使用

次の項では、Prime Central for HCS ポータルの使用を開始する方法について説明します。

- 「IE での Prime Central for HCS の設定」 (P.2-1)
- 「Prime Central for HCS ポータルへのログイン」 (P.2-2)
- 「Prime Central for HCS ポータルのカスタマイズ」 (P.2-4)
- 「メニュー構造について」 (P.2-3)
- 「フィルタリングと検索」 (P.2-7)
- 「ソート」 (P.2-9)
- 「Prime Central for HCS バージョンの表示」 (P.2-9)
- 「Prime Central for HCS ポータルからのログアウト」 (P.2-9)

IE での Prime Central for HCS の設定

Internet Explorer を使用して Prime Central for HCS を実行するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** IE を起動します。信頼済みサイトとして PC4HCS を追加します ([Tools] -- [Internet Options] -- [Privacy] -- [Sites])。信頼済みサイト リストに https://pc_host:8443 (PC ホスト名を使用) と https://pc_host_fqdn:8443 (PC FQDN (完全修飾ドメイン名) を使用) を追加します。
- ステップ 2** Cookie を追加します。Cookie を許可しない場合は、承認エラーが発生します。
- ステップ 3** ポップアップを許可します。
- ステップ 4** Service Visualizer で信頼済みサイトにするためにステップ 1 を繰り返します。次の URL を使用します。
https://service_visualizer_hostname:16316 (ホスト名) および https://service_visualizer_fqdn:16316 (完全修飾ドメイン名 (Service Visualizer 向け))。
- ステップ 5** Prime Central for HCS (<https://server-hostname:https-port-number>) にアクセスします。
- ステップ 6** セキュリティ警告を受け入れます。
この時点で、Prime Central for HCS を起動できます。

IE 8.0 での Prime Central for HCS の設定

Prime Central for HCS を初めて起動する場合は、IE 8.0 を設定します。これにより、エラーなしでアプリケーションを使用できます。

-
- ステップ 1** IE 8.0 を起動して、[Tools] > [Internet Options] を選択します。
- ステップ 2** [Security] タブで、[Intranet Zone] をクリックします。[Sites] > [Advanced] をクリックします。次の名前をゾーンに（1 度に 1 つずつ）追加します。
- Prime Central サーバ ホスト名（ドメイン名あり）
 - Prime Central サーバ ホスト名（ドメイン名なし）
 - Service Visualizer サーバ ホスト名（ドメイン名あり）
 - Service Visualizer サーバ ホスト名（ドメイン名なし）
- ステップ 3** [Add] をクリックし、次に [OK] をクリックします。
-

Prime Central for HCS ポータルへのログイン

Prime Central for HCS では、シングル サインオン (SSO) が提供されます。SSO を使用すると、Prime Central for HCS ポータルにログインするときに、ドメイン内の各ドメイン マネージャに別々にログインする必要がありません。現在、SSO はドメイン マネージャ CUOM および DCNM SAN に対してサポートされています。

図 2-1 Prime Central for HCS : ログイン画面



Prime Central for HCS ポータルにログインするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** デフォルトの Web ブラウザを開き、**https://server-hostname:https-port-number** と入力します。ここで、
- *server-hostname* は Prime Central for HCS サーバのホスト名です。
 - *https-port-number* はインストール中に設定された SSL ポート番号です。デフォルトの SSL ポートは 8443 です。



(注) 推奨されるブラウザは、Mozilla Firefox 3.6.24 と Internet Explorer 8.0 (Java アップデート 1.6.30) です。

ログイン画面が開きます。

- ステップ 2** ユーザ名とパスワードを入力します。
初めてログインする管理者である場合は、ユーザ名 *centraladmin* と、インストール中に設定したパスワードを入力します。
- ステップ 3** [Login] をクリックします。
- ステップ 4** 初めてログインした場合は、自己署名の信頼できないセキュリティ証明書を受け入れます。この証明書は、今後のログインで表示されません。

メニュー構造について

Prime Central for HCS にログインする場合、アクセスできるメニュー構造は、ユーザ特権と、インストールされていて利用可能なドメイン マネージャに応じて異なります。管理者レベルの特権を持つユーザには、次のメニューが表示されます。



(注) メニューバーからポートレットにアクセスしてポートレットを起動することを推奨します。[Add Portlet] アイコンの使用は推奨されません。

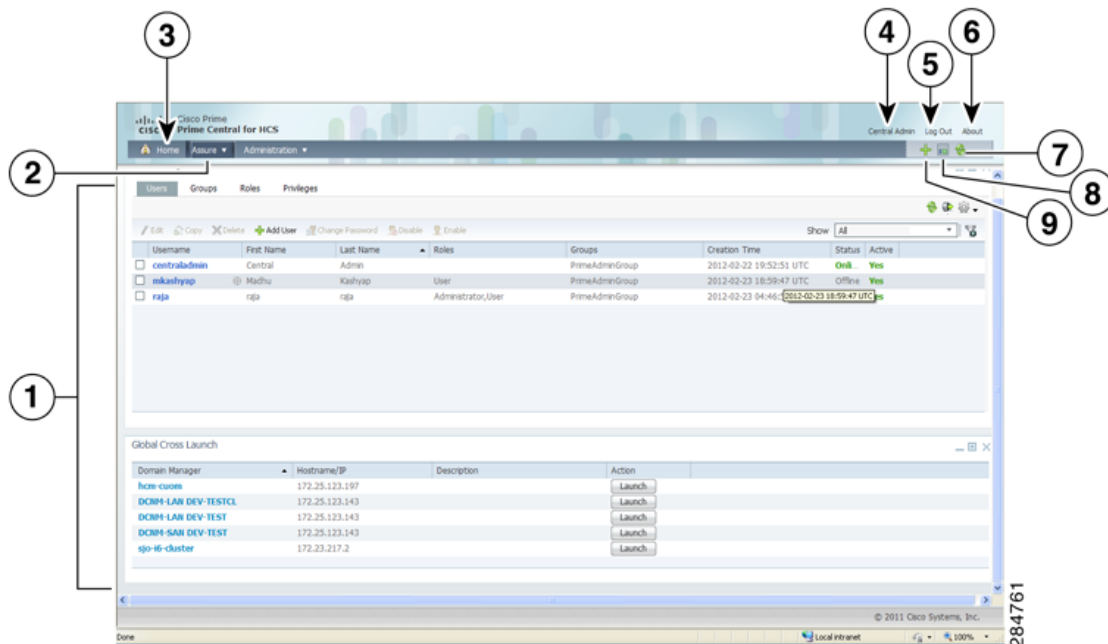
表 2-1 Prime Central のメニュー構造

Menu	オプション
ホーム	Prime Central for HCS ホーム ページが表示されます。
Assure	次のメニュー オプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • [Fault Management]: ネットワーク障害を特定、診断、および報告できる次のポートレットを相互起動します。詳細については、「イベントについて」(P.5-1) を参照してください。
Administration	次のメニュー オプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • [User and Group Management]: ユーザおよびパスワードの定義やロールベースのアクセス制御の設定を含むユーザ管理操作を実行できます。詳細については、「ユーザの管理とロールベース アクセスコントロールの設定」(P.3-1) を参照してください。

Prime Central for HCS ポータルのカスタマイズ

Prime Central for HCS にログインする場合、ホームページに表示されるポートレットは、ユーザー特権と、インストールされ、利用可能なドメイン マネージャによって異なります。

図 2-2 Prime Central for HCS : ホーム ページ



1	コンテンツ領域（ポートレットの選択によってコンテンツは異なります）	6	リンクについて
2	メニュー バー：メインメニュー項目が表示されます。	7	[Refresh Current Page] アイコン
3	ホーム メニューおよびアイコン	8	[Change Layout] アイコン
4	[Logged-in user] リンク	9	[Add Applications] アイコン
5	[Log Out] リンク		

次の項では、Prime Central for HCS ホーム ページで利用可能なカスタマイズ オプションについて説明します。

ポートレットの追加

Prime Central for HCS では、最上部のメニュー バーで提供されたオプションからほとんどのポートレットを呼び出すことができます。この項では、[My Accounts] ポートレットや [User Preferences] ポートレットなどの、最上部のメニュー バーから使用できない他のポートレットを追加するのに必要な手順について説明します。

次のポートレット管理の制約に注意してください。

- デフォルトでは、管理者は利用可能なすべてのポートレットを表示できます。
- 管理者は、各ユーザ ロールに対して異なるポートレットおよびレイアウトを割り当てることができます。ポートレットは、ユーザの Prime Central for HCS ホーム ページに自動的に追加されます。
- ユーザが最初にログインしたときに、ポートレット セットがロールに応じて特定のレイアウトで表示されます。ユーザはレイアウトをカスタマイズできます。

-
- ステップ 1** Prime Central for HCS ホーム ページで、[Add Applications] アイコンをクリックします。
ホーム ページ以外のすべてのページでは、[Add Applications] アイコンはグレー表示されます。
- ステップ 2** [Add Application] ダイアログボックスで、[Cisco Prime] をクリックします。
- ステップ 3** 必要なポートレットを選択し、[Add] をクリックします。または、ポートレットをホーム ページの必要な場所にドラッグ アンド ドロップします。
- ステップ 4** [Close] (X) アイコンをクリックして [Add Application] ダイアログボックスを閉じます。
- ステップ 5** [Refresh] をクリックします。



- (注) ブラウザの更新ボタンまたは Prime Central for HCS の更新アイコンのいずれかを使用して、ポートレットの追加直後に一度だけ更新することが重要です。
-

ポートレットの最大化または最小化

-
- ステップ 1** ポートレットを最大化するには、ポートレットの右上隅にある [Maximize] アイコンをクリックします。
- ステップ 2** 最大化されたビューを終了するには、右上隅にある [Minimize] アイコンをクリックします。
- ステップ 3** ポートレットを最少化するには、ポートレットの右上隅にある [Minimize] アイコンをクリックします。
- ステップ 4** 最小化されたビューを終了するには、右上隅にある [Maximize] アイコンをクリックします。
-

ポートレットの削除

-
- ステップ 1** ポートレットの右上隅で、[Remove] アイコンをクリックします。
- ステップ 2** 確認プロンプトで、[OK] をクリックします。
-

ホーム ページのレイアウトの変更

-
- ステップ 1** Prime Central for HCS ホーム ページで、[Change Layout] アイコンをクリックします。
ホーム ページ以外のすべてのページでは、[Change Layout] アイコンはグレー表示されます。

ステップ 2 必要なレイアウト（1つのカラムや 50/50 など）に対応するオプション ボタンをクリックします。

ステップ 3 [Save] をクリックします。

次のレイアウトの制約に注意してください。

- 複数の大きいポートレットは、単一の行で一緒に配置できません。
- 次のいずれかのオプションを選択しない限り、ポートレットは自動的に再配置されません。
 - [Free]（自由形式）
 - [1 col]（1つのカラム）
- ウィンドウが最小化または最大化された場合は、ポートレットをドラッグアンドドロップして再配置できません。
- [Free] レイアウト オプションを選択した場合、ポートレットの位置は自動的に調整されません。ポートレットは、手動で再配置する必要があります。他のレイアウトとは異なり、[Free] レイアウトではコンテンツ領域だけではなく、ブラウザ ウィンドウ全体が使用されます。

セッション タイムアウトの管理

デフォルトでは、Prime Central for HCS セッションは、アクティビティが 60 分間ないとタイムアウトになります。現在のセッションが終了する前に、セッションを延長するよう求められます。[Extend] ボタンをクリックしてセッションを延長します。セッションを延長しない場合は、Prime Central for HCS と、現在ログインしているすべてのドメイン マネージャから自動的にログアウトされます。

セッションがタイムアウトになると、ログイン画面が表示されます。再びログインすると、セッションがタイムアウトする前に表示されていたページに戻ります。再びログインする前に、ブラウザのキャッシュを消去し、Cookie を削除することを推奨します。

セッション タイムアウト値を変更するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 root ユーザとしてログインします。

ステップ 2 ディレクトリを `installation-directory/XMP_Platform/apache-tomcat-6.0.32/webapps/SSO/WEB-INF/spring-configuration` フォルダに変更します。

ステップ 3 vi などの標準的なテキスト エディタを使用して `ticketExpirationPolicies.xml` ファイルを開き、次の xml タグで太字で表示されたタイムアウト値を設定します。有効な範囲は 0 ~ 9223372036854775807 ミリ秒です。

```
<bean id="grantingTicketExpirationPolicy"
class="org.jasig.cas.ticket.support.TimeoutExpirationPolicy"
    <!-- This argument is the time a ticket can exist before its considered
expired. -->
    <constructor-arg
        index="0"
        value="3600000" />
</bean>
```

ステップ 4 `ticketExpirationPolicies.xml` ファイルを保存し、閉じます。

ステップ 5 セッションからログアウトします。

ステップ 6 `primeusr` ユーザとして、インストール中に指定した `primeusr` パスワードを使用して Prime Central for HCS サーバにログインします。

ステップ 7 次のコマンドを入力して、Prime Central for HCS サーバを再起動します。

```
cd /installation-directory/bin
```

```
./portalctl stop
./portalctl start
```

フィルタリングと検索

フィルタリングおよび検索オプションを使用すると、必要なデータを素早く見つけることができます。フィルタリングを使用すると、不必要な詳細情報を除外でき、検索を使用すると、さらに調べるデータを素早く見つけることができます。この機能は、多くのエントリを含むテーブルを使用する場合に役に立つことがあります。

クイック フィルタの使用

[User Management and Alarm Browser] には、[Show] ドロップダウン リストと [Quick Filter] オプションがあります。

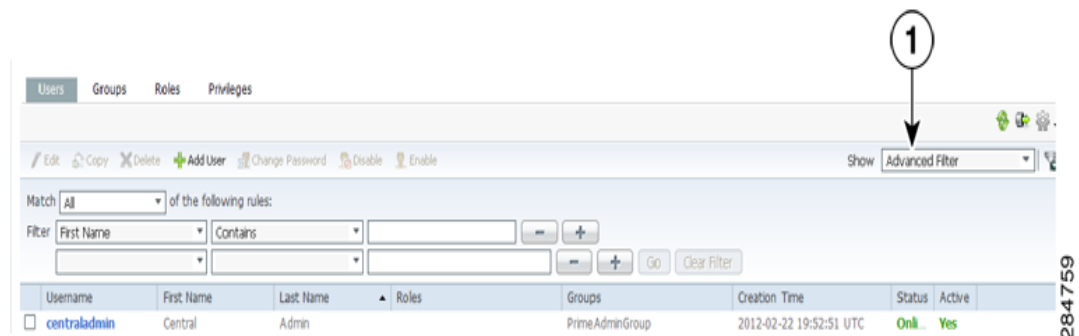
[Quick Filter] を使用してテーブルのデータを絞り込みます。

- ステップ 1** [Show] ドロップダウン リストで、[Quick Filter] を選択します。
- ステップ 2** 各カラムのテキスト フィールドに、検索基準を入力します。
クイック フィルタの検索基準に基づいてテーブル データが表示されます。

拡張フィルタの使用

[User Management] ポートレットには、[Show] ドロップダウン リストと [Advanced Filter] オプションがあります。

図 2-3 拡張フィルタ



拡張フィルタを使用するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Show] ドロップダウン リストで、[Advanced Filter] を選択します。
- ステップ 2** [Match] ドロップダウン リストで、指定された基準を満たす項目を含めるルールを選択します。
- [Any] : 次のいずれかの基準を満たす必要があります。
 - [All] : 次のすべての基準を満たす必要があります。
- ステップ 3** 各基準に対して、次の情報を指定します。
- a. 最初のドロップダウン リストで、第一の一致カテゴリを選択します。このドロップダウン リストには、現在のテーブルのすべてのカラムが含まれます。
 - b. 2 番目のドロップダウン リストで、この基準に使用するルールを選択します。次のオプションがあります。
 - [Contains] : 入力した文字列が含まれる場合は、属性値が返されます。この文字列が属性値の先頭、末尾、または中に含まれていた場合、この照合は成功します。たとえば、文字列が「cle」である場合、[contains] モードでは、「clean」、「nucleus」、「circle」が一致します。
 - [Does not contain] : このモードでは、該当する文字列を含まない属性のみが一致します。結果は [contains] モードの逆です。たとえば、このモードで「cle」を入力した場合、「clean」、「nucleus」、および「circle」は却下されますが、「foot」には「cle」が含まれていないため、一致します。
 - [Starts with] : 属性値は入力した文字列で始まる必要があります。たとえば、文字列が「foot」である場合、「footwork」は一致しますが、「afoot」は一致しません。
 - [Ends with] : これは [starts with] とは逆のケースであり、指定された文字列が属性値の最後にある場合のみ、該当する属性が一致します。このモードでは、たとえば、文字列「foot」は「afoot」には一致しますが、「footwork」には一致しません。
 - [Is empty] : フィールドに値がない結果をリストします。
 - [Is not empty] : 値がフィールドで不明でない結果をリストします。
 - [Is exactly (or equals)] : これは、最も一般的なモードであり、興味があるノードを定義する完全または一部の表現を入力できます。
 - [Does not equal] : 指定された値に一致しない結果をリストします。
 - [Is greater than] : 指定された値よりも大きい結果をリストします。
 - [Is less than] : 指定された値よりも小さい結果をリストします。
 - [Is greater than or equal to] : 指定された値以上の結果をリストします。
 - [Is less than or equal to] : 指定された値以下の結果をリストします。
 - c. 3 番目のフィールドは、利用可能な値をリストします。または、そのフィールドに、テキストを入力できます。
 - ドロップダウン リストが表示された場合は、必要なエントリを選択します。
 - エントリ フィールドが表示された場合は、基準の文字列または正規表現を入力します。正規表現でないエントリは、すべて文字列として扱われます。
- ステップ 4** [+] アイコンをクリックして、このフィルタの別の基準を追加します。
- ステップ 5** 必要に応じて基準を追加します。基準を削除するには、[-] アイコンをクリックします。
- ステップ 6** フィルタにすべての基準を指定した場合は、[Go] をクリックします。
テーブル データは、定義されたフィルタを使用して表示されます。
- ステップ 7** 現在のセッション中に再使用のためにフィルタ パラメータを保存するには、[Save] アイコンをクリックします。(フィルタ パラメータは、Prime Central for HCS への次回ログイン時のために保存されません)。

- ステップ 8** フィルタを削除するには、[Clear Filter] をクリックします。
テーブルが更新され、すべてのエントリが表示されます。
-

ソート

テーブルのデータをソートするには、カラムの見出しをクリックします。カラムの見出しをクリックすることにより、ソートの昇順と降順を切り替えることができます。カラムのツールチップは、カラムがソート可能であるか、ソート可能でないか、または現在ソートされているかを示します。



(注) 一度にソートできるカラムは 1 つだけです。

カラムの見出しの横に表示される三角形はソート順序を示します。

- ▲ は、カラムが昇順でソートされることを示します。
- ▼ は、カラムが降順でソートされることを示します。

Prime Central for HCS バージョンの表示

実行している Prime Central for HCS バージョンを表示するには、ポータル ホーム ページの [About] リンクをクリックします。

[About] ダイアログボックスには、Prime Central for HCS バージョンが表示されます。垂直方向のスクロール バーを使用して Prime Central for HCS のビルドおよびパッチ番号を表示します。

Prime Central for HCS ポータルからのログアウト

Prime Central for HCS からログアウトすると、ドメイン マネージャではなく Prime Central for HCS からのみログアウトします。接続を確立したすべてのドメイン マネージャにはログインしたままになります。ログアウトするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ポータル ホーム ページで [Log Out] をクリックします。
- ステップ 2** 確認プロンプトで、[OK] をクリックします。
-

